

OTAFFの特定技能試験のCBT配信事業者選定のための資料提出依頼

以下の項目A～Lに回答する資料を提出願います。

回答は、次の①～③の方法で提供ください。

①記述、②資料添付（①②とも様式自由）、③既存資料の添付

質問項目で「記述してください」となっている項目についても、必要に応じ、適宜②資料添付または③既存資料で、回答してください。

ただし、③の既存資料で回答する場合は、既存資料のどの部分がどの質問項目に対応しているかわかる情報も併せて提出してください。

A: OTAFFの受験者(会員)管理システム(以下、「OTAFFの管理システム」)とのデータ連携

1 OTAFFの管理システムから予約サイトへの遷移段階の連携

(1) すでにAPIを持っている場合はその仕様がわかるものを提供してください

(2) 現時点でAPIを持っていない場合はAPI連携が可能ですか（新規のAPI連携の要件は別紙2）

※別紙2は、本件公募への参加を検討する事業者であって、本件公募公告の本文に記載のOTAFFの照会先に連絡があった場合に、個別に提供いたします。

(3) API連携が不可の場合、他にどのようなデータ連携が可能ですか

2 OTAFFの管理システムの個人マイページ（会員アカウント）へのログインからシングルサインオンで御社の予約サイトへログインできるようにすることが可能ですか

3 試験の予約情報、当日の運用結果、受験後の採点データ、合否結果のデータ連携

(1) 受験予約データ(試験種類、試験会場、日時)をどのように会員管理システムに取り込むことが可能ですか。

① すでにAPIを持っている場合はその仕様について添付してください

② 現時点でAPIを持っていない場合はAPI連携が可能ですか（APIの要件は別紙2）

※別紙2は、応募に関心のある事業者から本件公募広告本文に記載の照会先に提供依頼があった場合に、提供いたします。

③ API連携以外の方法でデータを提供する場合は、その方法がわかるように記述してください。

(2) 受験日の運用結果について、次の項目のうち、どの情報をどのようにOTAFFの管理システムに取り込むことが可能か、あるいはOTAFFに情報提供可能か記述してください。

① 出欠

② 受付で本人確認ができなかった場合、そのことの記録

③ 試験室入室前の顔写真撮影データ

④ 試験室入室前に不正行為があった場合の記録

⑤ 試験入室後、試験中に不正行為があった場合の記録

⑥ ①～⑤以外に提供が可能な情報がある場合は、わかるように記述してください。

(3) 試験結果について、各受験者の次の項目のうち、どの情報をどのようにOTAFFの管理システムに取り込むことが可能か、あるいはOTAFFに情報提供可能か記述してください。

① 受験時間（開始時間、終了時間）

② 各間ごとの所要時間

③ 解答結果（受験者が解答した選択肢）

④ 採点データ、合否結果

⑤ ①～④以外の情報が提供可能な場合は、そのことをわかるように記述してください。

4 データ連携の仕組みを作るのに要する期間はテストも含めて着手から何か月必要ですか。前提条件または制約事項があれば併せて記述してください。

B: 予約サイト・試験配信システムのカスタマイズ対応可能性

1 予約サイトの多言語化

- (1) 予約サイトの現状の対応言語をすべて記述してください。また、どのような方法で多言語表示を可能としていますか。
- (2) 今後OTAFFのリクエストにより言語を追加可能ですか。また言語追加に関し、制約事項があれば併せて記述してください。
- (3) 現在、多言語対応がない場合、多言語対応可能性と制約事項を記述してください。

2 企業申し込みの優先予約への対応可能性

- (1) 個人予約は受験しようとする日の2か月前から、企業からの受験希望者（企業の採用内定者等）は3か月前から予約可能とする制御は可能ですか。可能な場合、どのような方法で可能となりますか。企業からの受験希望者であることを識別する方法の提案と併せて記述してください。
- (2) 特定技能2号の受験のためには、一定の要件の実務経験を満たす必要があります。OTAFFは管理システムの企業マイページで企業から2号受験希望者ごとに実務経験証明書を登録してもらい、審査をして同実務経験を確認します。その確認後でなければ、受験できません。企業の2号試験受験希望者の試験予約に至るフローとして、どのようなフローが可能ですか、提案してください。当該受験希望者が、実務経験確認済みであることを識別する方法の提案と併せて記述してください。

3 OTAFFの管理システムでの会員登録（マイページ登録）で、在留カードの有無を登録し、無しの場合は、パスポート情報のみの登録となります。このような短期滞在者の在留資格の的確な確認を担保するため、パスポートのみの短期滞在資格の者として識別できる者が、試験予約サイトで試験予約する際に、予約できる会場をOTAFF専用会場（別紙4参照）のみに制御することは可能ですか。

4 再受験の制御、不正行為者への受験禁止制御

- (1) 同一試験種の再試験の期間制御を45日間設定すること可能ですか
- (2) 不正行為者に対し、OTAFFが判断する一定期間の受験禁止の間、試験予約できないよう制御することは可能ですか

5 試験配信時のPC画面の操作方法の多言語化等

- (1) PC画面操作ガイドの多言語化
 - ① 試験問題を解答するPC画面の操作方法を多言語化していますか、多言語化している場合、対応言語を列記してください。
 - ② 現在、多言語表示していない場合、多言語表示可能性と制約事項を記述してください。
 - ③ 多言語表示が難しい場合、外国人受験者の利便のためにどのような代替方法がありますか。ご提案ください。
- (2) OTAFFの試験の計算問題では、電卓の使用を可としています。試験会場のPCで計算機機能を使用可とすることが可能ですか。

6 カスタマイズに要する期間は、テストも含めて着手から何か月必要ですか。前提条件または制約事項があれば併せて記述してください。

C: CBT配信方式

- 1 試験問題データの登録方法について記述してください。
- 2 試験問題を試験会場のPCに配信する方式を記述してください。（ローカルサーバー利用の有無、オンラインでブラウザー上で表示など、配信方式がわかるように記述）

D: 情報セキュリティ

- 1 試験問題の機密性をどのように確保していますか。(1)、(2)それぞれの段階ごとに記述してください。
 - (1) 御社内及び試験配信の段階
 - (2) CBT配信先の試験会場

E: 試験会場の運営

1 試験当日の運営管理

- (1) 特定技能試験のCBT実施実績がある場合、契約先または直営の試験会場でどのような運営管理を行っているか、次の①～⑤について回答してください。

- ① 受付での本人確認に使用する書類をすべて列記してください。
- ② 本人確認書類でどのように本人確認をするのか記述してください。
- ③ 受付での本人確認後、試験室に入室するまでの事務フローを記述してください。
- ④ 試験中の不正行為監視をどのように行うのか記述してください。監視カメラを設置している場合は、その旨を、また録画している場合はその旨も含めて記述してください。
- ⑤ 試験会場での運営管理体制がわかるように記述してください。（要員ごとの役割分担、人数、休憩の取り方等）

- (2) 特定技能試験のCBT実施実績がある場合、OTAFFが求める試験会場運営管理フロー（別紙3）のレベル1またはレベル2またはレベル3の事務フローに沿って運営管理できる可能性がありますか。ある場合の制約事項も併せて記述してください。

- (3) (1)の実績がない場合

- ① 現状の試験運営について、E1(1)の①～⑤に準じて、記述してください。
- ② OTAFFが求める試験運営管理フロー（別紙3）のレベル1またはレベル2またはレベル3のいずれか対応可能な試験会場を用意できる可能性がありますか。用意できる場合、対応可能試験会場を今後増やしていける可能性がありますか。制約事項または前提条件があれば併せて記述してください。

2 契約先または直営の試験会場の状況

- (1) 都道府県別市町村別会場数一覧を提出してください。
- (2) うち、OTAFFが求める試験運営管理フロー（別紙3）のレベル1またはレベル2またはレベル3を現時点で実施可能な会場がある場合は、市町村別の会場数の右の欄にわかるように「レベル1(会場数)」または「レベル2(会場数)」または「レベル3(会場数)」を記述してください。

3 特設会場型でのCBT配信の可否（OTAFFが求める試験地での特設会場方式による試験運営の可否）

- (1) 常設ではなく、特設会場型でのCBT試験実施の実績がありますか。ある場合は、昨年度の実績がわかる資料を提供してください。
- (2) (1)の実績がある場合、会場のネット回線の通信確保、PCの電源確保をどうしたのか記述してください。

F: OTAFF専用会場との関係

- 1 OTAFFが整備する予定のOTAFF専用会場（別紙4参照）では、OTAFFの試験のみ実施します。その前提で、OTAFF専用会場を御社のCBT配信先の試験会場として契約することは可能ですか。可能な場合、契約する場合に求められる要件や基準について、(1)～(3)それぞれごとに回答してください。

- (1) 施設要件・基準
- (2) 運営体制要件・基準
- (3) その他の要件・基準

- 2 OTAFF専用会場を配信先の試験会場として登録する際の御社の専用の登録サイトでの登録手順について記述してください。

- 3 専用会場が所在する都道府県において、当該都道府県及びその近隣都道府県の試験会場での配信制御について

- (1) OTAFF専用会場所在の都道府県に所在している御社の契約先試験会場では、OTAFFの試験を配信しないように制御することが可能ですか。
- (2) OTAFFが指定するOTAFF専用会場所在の都道府県の近隣都道府県に所在する御社の契約先試験会場で、OTAFFの試験を配信しないように制御することが可能ですか。

- 4 OTAFF専用会場の整備及び運営準備等に対するサポート提供が可能ですか。可能な場合は、サポートの内容や範囲を次の(1)、(2)ごとに記述してください。サポート提供の前提条件や制約事項があれば併せて記述してください。

- (1) 専用会場の整備に関し、提供できるサポートの内容や範囲について
- (2) 運営体制の整備、要員の研修、運営マニュアル作成等に関し、提供できるサポートの内容や範囲について

G: 次の1と2の実施及び準備に関し、OTAFFが負担すべき額の概算はいくらですか、それぞれ金額（税抜き）を提示ください。

- 1 OTAFFの会員管理システムとの連携準備経費（項目Aに関する経費）

- (1) 連携準備経費

- 2 予約サイトのカスタマイズ対応等のためのシステム開発経費（項目Bに関する経費）

- (1) 開発費

H: G以外の初期費用が発生する場合の経費項目と金額

I: 配信手数料及び決裁手数料の金額（単価）

今後3年間で想定される年間の受験規模は、2024年度の国内試験申込実績程度～その1.5倍の範囲として算定・設定してください。

	2024年度実績	1.5倍
(1) 外食 1 号	30,046	
(2) 飲食 1 号	44,552	
(3) 外食 2 号	1,480	
(4) 飲食 2 号	3,472	
合計	79,550	119,325
うち、OTAFF専用会場での割合は 6 ～ 7 割程度（想定）		

J: I以外のランニング費用等があれば、その経費項目と金額（単価等）

K: 項目Fの 4 のサポートサービス提供費用

L: OTAFF専用会場への会場運営手数料（OTAFFが受け取る金額）の単価

M: 上記項目A～Lに関し、他に提案等があれば、記述してください。（任意）

配点

（品質評価）

A OTAFFの会員管理システムとのデータ連携	40点
B 予約サイト・試験配信システムのカスタマイズ対応可能性	
C CBT配信方式	
D 情報セキュリティ	
E 試験会場の運営	
F OTAFF専用会場との関係	
M その他提案（任意）	

（価格評価）

G OTAFFの会員管理システムとの連携準備経費（項目Aに関する経費）	10点
予約サイトのカスタマイズ対応等のためのシステム開発経費（項目Bに関する経費）	
H 項目G以外の初期費用が発生する場合の経費項目と金額	50点
I 配信手数料及び決裁手数料（単価）	
J 項目I以外のランニング費用等があれば、その経費項目と金額（単価）	
K サポートサービス提供費用（項目Fの 4 に関する費用）	
L OTAFF専用会場への会場運営手数料（OTAFFが受け取る金額）	

合計 100点